

第28回化学工学会九州支部学生賞審査会 報告

令和5年7月1日に第28回化学工学会九州支部学生賞審査会が開催されました。本学生賞は、学生自身の能力を審査する観点から、研究の理解度やプレゼンテーション能力を特に重視して毎年審査が行われている支部企画です。本年は博士課程3名、修士課程9名が審査会において研究発表を行い、8名の審査委員によって厳正に審査が行われました。その結果、受賞者は下記の通り、博士課程の部は1名、修士課程の部は3名の方に決定しました。発表した学生諸君の研究への理解、プレゼンテーション能力の高さ、明快な回答など、どれもレベルの高いものが多く、今後ますますの飛躍が期待される審査会となりました。長時間にわたり教育的見地に立ち、厳正なる審査を担当して頂いた審査委員の皆様に、心より感謝申し上げます。

【博士課程の部】

DC03 励 騰暢 (九州大学)

「酸素生成能を付与した新規培養基材開発と血管化オルガノイド構築への展開」

【修士課程の部】

MC03 後藤 啓太 (鹿児島大学)

「自己修復材料への応用を目的とした刺激応答マイクロカプセルの開発」

MC05 西岡 莉子 (九州大学)

「抗体結合性タンパク質を融合した酵素による抗体薬物複合体作製法の開発」

MC09 福村 将成 (九州大学)

「肝臓表面における組織構築のための多層スポンジニードルの開発」

審査員氏名 (敬称略、順不同)

川口真一、鈴川一己、西浜章平、水本博、大渡啓介、河邊佳典、長尾匡憲、中澤浩二

(九州支部庶務幹事 B 河邊佳典)

【受賞者のみなさん】



DC03 励 騰暢さん



MC03 後藤 啓太さん



MC05 西岡 莉子さん



MC09 福村 将成さん